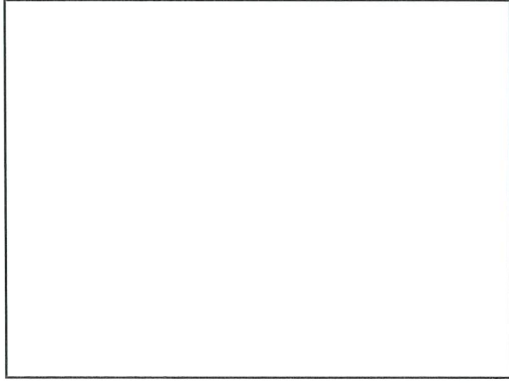


1. 2015 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	33,461	104.6	↗
支出	32,454	95.3	
経常収支差額	1,007		

評価：るびなすの開設に伴う、人員不足がある中で、前年度実績以上の結果を残す事が出来た。



② 職員配置と研修（職員数は 2016 年 1 月現在）

常勤職員3名(1名はヘルパーサービス提供責任者)、パートスタッフ16名の体制(12月に元利用者のパートスタッフの採用。同月に新規パート2名入職、3月末にパート1名退職)。2ヶ月に1度、中谷正恵先生の「支援者研修」実施、毎月部門内にてパートスタッフ向けの研修と、ケース支援会議実施。

③ 事業内容

・毎月、創作と調理の企画を実施。・8月に「キャンプ」を実施。・地域交流企画として地域の「夏祭り」への参加、じらふ主催で「秋祭り」の実施。・2月に原山台小学校で、「福祉教育」の授業を実施。じらふ隣の空き店舗の活用、事務所環境の向上と「リラクスルーム・ワークルーム」や「懇談室」としての活用。

④ 品質管理

・高さ制限のある駐車場にてキャラバンバックライト(上部)を破損する事故あり。新規パート採用に伴って運転手が増えた為、運転危険個所をまとめたハザードマップを作成中。

2. 2016 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	33,500	⇒	制度上の限界に近い人数で予定を立てている。競合事業所が増える中、欠員補充も難しいので、放デイの収入は頭打ちと思われる。
支出	26,013		管理者人件費の本部移管で実態に応じた支出になる

② 主課題

- 1、事業展開の拡大に伴った、デイとヘルパー、就労の連携、つながりある支援の確立。
- 2、研修体制(支援者研修等)やケース支援会議と連動した支援実践の質の向上。
- 3、パートスタッフのスキルアップとモチベーションアップにもつながる役割分担。

③ 年間事業計画（予定）

5月	登山企画	12月	クリスマス企画
7月	昼食調理企画(カレー・流しそうめん等)	1月	書初め
8月	デイキャンプ	3月	アルバム作り
10月	ハロウィン企画	4・6・9・2月	季節のデザート等おやつ作り
11月	登山企画		

1. 2015年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	3,026	72.7	↗
支出	938	167.5	
経常収支差額	2,088	60.7	

評価：予算達成はかなわなかったが、収入が安定してきた。



② 職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

常勤1人(デイと兼務)、パートヘルパー7名(今年度3名増、デイパートと兼務)ヘルパー独自の研修は行う事が出来なかった。(しかし、デイと共通の研修は実施) ヘルパー独自の研修を増やしたい。

③ 事業内容

今年度は毎月1回(4月は2回)のヘルパー企画を実施。企画を目的に、ヘルパー利用をされる利用者もおり、集団での派遣や企画の必要性を強く感じる。その一方で、ヘルパー企画希望者を毎回受け入れるのは困難な状況。企画参加者の希望の増加により、その時の対応を考える必要がある。

④ 品質管理

ヘルパーに対し、派遣内容の周知が行き届いていない事がある。前日、当日の確認などもあり、事前の確認や周知の必要を感じている。利用者の所持金や所持品の紛失などもあった。

2. 2016年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	4,000	↗	移動支援利用の拡大と提供サービスの広がりにより。
支出	5,640		常勤配置(デイから転籍)のため赤字化

② 主課題

- 1、ヘルパー数の増加(移動支援では、デイ学生パートのヘルパー採用、居宅介護提供可能者の確保)
- 2、ヘルパーの質の向上(ヘルパー研修の実施)
- 3、移動支援の派遣件数の増加(ニーズの充足)
- 4、移動支援以外のサービス実施(居宅介護等)

③ 年間事業計画(予定)

4月	ボーリング	10月	ミカン狩り
6月	阿倍野散策	11月	紅葉外出企画
7月	プール企画	12月	野外パーティー
8月	バーベキュー	1月	初詣
9月	カラオケ企画	2月	カラオケ企画

1. 2015 年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	2,724	349.2	
支出	16,815	209.7	
経常収支差額	-14,091	194.6	

評価：開所一年目、予算達成は適わなかったが、泉北で成人の新事業がスタート出来た事は、大きな一歩となった。



② 職員配置と研修（職員数は 2016 年 1 月現在）

8月に契約職員を採用、常勤職員2名の体制で、パート職員をじらふ泉北と共用で活用する。研修は、じらふ泉北の「支援者研修」にて、るびなす利用者の事例も取り上げ活用。

③ 事業内容

1、地域に根ざしたスーパーを目指して、地域連携を進めながら、「野菜」と「鮮魚」に重点を置いて運営に取り組む。 2、年度途中での開設であったので、利用者確保に区の保健センター、基幹相談支援センター、社協等への訪問を頻繁に行う。 3、協働している組織が多い(堺市、高倉台連合自治会、NPO法人すまいるセンター、堺市市場連合会等)スーパーという立ち位置を活用して、広報を多岐(新聞、コミュニティ誌、テレビ、市広報等)にわたり行う。

④ 品質管理

利用者アンケートは未実施。 来年度に向けて、利用者さんが「イキイキと働く」支援体制の充実に取り組む。その中の重点事業として、「惣菜販売」と調理研修を置く。

2. 2016 年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	8,983	↗	給付収入は 5,763 利用者の確保(各日平均 4 名の利用を想定)
支出	18,457		副主任配置など体制強化を先行しているため

② 主課題

- 1、「惣菜販売」と料理研修を計画的に行い、利用者さんの技術向上と売り上げの確保を行う。
- 2、高倉台マルシェの取り組みを通し、地域自治会や学校、商店会などとの連携を深める。

③ 年間事業計画（予定）

4月	新入利用者受け入れと歓迎会	12月	カニ販売、寄せ植え教室等
5月	第3回高倉台マルシェ 味噌づくり	1月	第7回高倉台マルシェ
7月	地域の夏祭りと共に第4回マルシェ	3月	第8回高倉台マルシェ
9月	第5回高倉台マルシェ 惣菜販売		
11月	第6回高倉台マルシェ、カニ販売		